

それいけ！オレンジガール 第17回 あなたも「認知症サポーター」になりませんか



市では、「認知症サポーター養成講座」の受講希望者を随時募集しています。養成講座は、認知症に対する正しい知識の普及と偏見をなくすことを目的に開催しており、平成20年度から11月現在まで55回行っています。

認知症って「どんな病気?」「どんなふうに接したらいいの?」などを、「キャラバン・メイト」と呼ばれる講師がわかりやすくお話しします。

また、受講者には、サポーターの目印として、オレンジ色のブレスレット（オレンジリング）をお渡しします。地域に認知症サポーターが増えることで、高齢者が安心して暮らせるまちづくりにつながります。まずは認知症を知ることからはじめてみませんか?

■「認知症サポーター」とは

講座を受けたからといって、認知症の方になにか特別な支援を行うわけではありません。

認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守る応援者のことです。

■受講したい方は

自分が所属する団体やグループ、職場や仲間などで希望者を募り、日程を合わせてご相談ください。少人数からでも開催できます。

講座の時間は60分～90分を目安に行っています。なお、費用はかかりません。



東中・西中の生徒たちも サポーターの一員です

昨年、葦崎東中学校、葦崎西中学校の1年生を対象とした養成講座が行われました。

受講した生徒たちの感想をご紹介します。

〔葦崎東中学校〕

- 何で認知症になるのかではなく、認知症になった人をどうやってサポートしていけばよいかが大切だと思いました。
- 講師の話やDVDを見て、自分がいま知っている認知症の知識よりも、たくさんの方がわかりました。誰がいつなってもおかしくない病気なので、いろいろなことを知ることができる、よい経験になりました。私も今日から認知症サポーターなので、自分の身近にいる人たちのサポートができたかなと思います。強くあたるのではなく、優しく接することを心がけて生活したいと思います。
- この講座を受けて、少しもの忘れのあるおばあちゃんへの言葉づかいを変えなければいけないと思いました。おばあちゃんは、薬を飲むのを忘れてたり、何をするかを忘れてしまったりしています。そんな時は、「おばあちゃん、しっかりしろし」とか、「だいたいじょぶけ」など、心のこもっていないことを言ってしまったので、今度からは気をつけたいと思いました。今度会いに行った時は、たくさん話をして、はげましてあげたいと思います。

〔葦崎西中学校〕

- 今日の講話を聞く前までは、認知症についてあまり興味もなく、関心もありませんでした。それは、ぼく



の家族の中に認知症になった人はいないし、他人事のように感じていたからです。しかし、今日の講話を聞いて、初めて、年齢や男女関係なく起こるものなんだと改めて感じました。

- ニュースなどで『認知症』とか『高齢社会』という言葉は聞いたことがあるけど、今まではあまり気にしていませんでした。でも、今日、認知症は将来自分にも起こるかもしれないということ、改めて実感しました。私は、将来にそなえて今からもっと認知症のことについて知っておこうと思いました。おばあちゃん、おじいちゃんが、もし認知症になってしまった時は、今日の講座の話思い出して、対応ができるようにしていきたいです。お母さんやお父さんにも、認知症について知ってもらうために、今日学んだことを話したり、資料を見せたりして、知ってもらえるようにしたり、学んだことは忘れず、どんな時でも対応できるようにしたいです。
- 私の家にはおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んでいて、おばあちゃんが最近もの忘れが多く、普段の会話でも、いま話していることとは全く違うことを言い出す時が多々あります。もしこの先、おじいちゃんやおばあちゃんが認知症になってしまった時には、「おじいちゃん、おばあちゃんは認知症になってしまったけれど、何不自由なく生活できているよ。」と言ってもらえるよう、今日学んだことを役立てていきたいです。

■お問い合わせ・お申し込み もの忘れ相談センター（保健福祉センター内） ☎ 23-4464